

越える

12月14日(土)に小中高マラソン大会を実施しました。

マラソン大会実行委員の子供たちが決定したスローガンは、「不倒不屈～自分に負けない気持ちを心と体で表そう～」でした。長距離を走ることは、「走」という単純な動きではある一方で、心肺機能に負荷が掛かり続け、脚力を中心とした全身の体力を消耗する運動です。「長距離を走ることが好きだ!」と、笑顔で言える人は、多くはないと思います。あえて「不撓不屈」を「不倒不屈」に変換した意図も、苦しい運動であるからこそ、自分自身に打ち勝ち、気持ちが倒れないようにみんなで支え合って頑張ろう!!というメッセージが込められていたことでしょう。当日も、小学校1年生から高校3年生までゴールを目指してひた走る力強い姿が見られました。沿道で応援してくださった保護者、地域の方々の温かい声援もたくさん聞こえる中、子供たちは自分の限界を越える走りを見せてくれました。追い風となる温かい声援をありがとうございました。



4年生の体育「走・跳の運動」学習です。こちらは物理的に障害物を飛び越える運動をしています。「幅跳び」の基本的な動きや技能を身に付けることがねらいです。4年担任の熱血 KIMURA 主幹教諭は、日々の教材研究に余念がありません。空き箱を用意し、段階的に距離に変化をもたせた場を作り、5～7歩程度の助走から、遠くへ飛ぶ感覚をつかむ「場の工夫」をしています。どの子も自分の力に合わせながら場を選び、「できた」喜びを味わい、楽しく学習する姿が見られました。勤務時間を越えても教材研究を続ける姿が見られることがありますが、子供たちの笑顔は、何よりも超越したプロの教師としてのやりがいとなっていることでしょう。

集会委員会が企画した児童集会の様子です。クリスマスソングをBGMとして流し、ジャンケン列車をしています。クリスマスのこの時期にみんなで思い出に残る楽しい時間を過ごしたいという集会委員会の願いから実現しました。ジャンケンに負けると、相手の列車の後ろに付きます。最後は、全児童が連結した列車が完成します。このように学年を越える全校児童による活動が充実しているのが、本校の特色でもあります。子供たちの仲もとてもよいです。ふだんから上学年は、下学年のことを気に掛けてお世話をする様子が見られるすてきな子供たちです。集会委員会のおかげで、楽しい時間になりました。ありがとう。



最後にご紹介するのは、「巳のおやこ」の組み木細工です。これは、兵庫県南部大地震ボランティアセンターの菅澤邦明様より寄贈していただきました。菅澤様は、兵庫県にお住まいの方で、1995年の阪神淡路大震災の際に、全国各地の方々からの支援をいただいたことを機に、その後、自然災害の被災地にボランティア活動をされているそうです。2000年の三宅島の噴火による全島避難時には、都立秋川高校に避難していた子供たちにも、直接、避難先を訪ねた経緯があったそうです。5～6年前からは、三宅島の子供たちに十二支の干支の組み木をプレゼントしてくださっています。毎年、クリスマスの季節に数百キロの空を越えるすてきなプレゼントにとっても温かく嬉しい気持ちになります。ありがとうございました。

今年もたくさんの子供たちの笑顔、頑張りが見られた1年間となりました。皆様のおかげで、無事に年を越えることができそうです。感謝の気持ちをお伝えして、年末のご挨拶いたします。ありがとうございました。

良い年をお迎えください。

(私は年末年始に地元へ帰り、家族と過ごす予定です。食べすぎ飲みすぎに気を付けて、お腹周りが 肥える ことがないように気を付けたいと思います)